

B-8					
主題	その人らしさを取り戻す優しい認知症ケアの実践				
副題	ユマニチュードの実践とその成果				
キーワード 1	認知症ケア	キーワード 2	ユマニチュード	研究(実践)期間	10ヵ月
法人名・事業所名	社福) 港区立特別養護老人ホーム白金の森				
発表者(職種)	遠藤晶利(副施設長)、門田尚貴(介護課長)				
共同研究(実践)者	成田寛一郎(施設長)				
電話	03-3449-9611	FAX	03-3449-9617		
事業所紹介	白金の森は東京都港区に 1988 年 9 月 1 日設立。49名×2フロアの計 98 名が入所される従来型特養。平均介護度 4.2 と比較的重度な方の利用が多い施設ではあるが、その方らしい生活の実現を目指し、日々職員一同一丸となってより良いサービスの提供を目指している。				

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

認知症ケアで大変な事の一つとして行動心理行動の対応が挙げられると考える。

認知症ケアでは、利用者からの介助拒否の理由として、認知機能の低下が挙げられ、認知機能が低下する事により、これから行う介護の意図が分からなくなることや、理解するのに時間を要する為、そういった状態で介助を行ってしまうと、BPSD を引き起こしケアが難しくなってしまう介護者の介護疲れや離職などにつながってしまいます。ケアをする人、受ける人双方が優しい気持ちになり、笑顔が生まれるケアを実現する必要があると考えている。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

認知症になっても自分らしく尊厳をもって生活し続けることができる。ことを目的に、ユマニチュードの導入による BPSD への効果を検証。

《3. 具体的な取り組みの内容》

ユマニチュード実施の検証において、NPI 評価を用いて評価した。

Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) の PDCA サイクルによるケアのアプローチを実施。

職員間で行動心理症状の評価・観察、観察に対して背景要因の分析、それに対してケア計画、実施。この PDCA の 4 ステップを継続しながらケアの質を高めていった。

ご利用者 2 名に対して実践。

① X 様

観察・評価として、傾眠されていることが多く、覚醒状態は良くない、声掛けへの反応は薄いといた状態が見られる。

→覚醒状態が良くなかった X 様に、ユマニチュードの技法を用いて「立つ・歩く」というケアを実践。

② Z 様

誤嚥性肺炎の繰り返しで胃瘻増設をされました。また、身体状態も悪く看取り同意を交わしている。

Z 様の生活の流れとして終日居室で過ごされており、覚醒状態も低く声掛けに対しても殆ど反応は見られない。

→ Z 様の普段のご様子から、背景要因の分析を行った。

覚醒状態が良くない要因として、終日、ベッド上で過ごされていることから外的刺激がない、職員もケアに集中してしまい声掛けなど出来ていないことで、傾眠が強くなっているのではないかと考えた。

立案として、介助中に Z 様に接する時間を増やし、覚醒状態を上げる。ユマニチュードの 4 本柱では「見る」と「話す」を重点としたケアを実施。

《4. 取り組みの結果》

① X 様

覚醒状態が良くなかった X 様に、ユマニチュードの技法を用いて「立つ・歩く」というケアを継続して行っていくことで、日中の覚醒状態が少しずつ改善傾向に向かい表所も穏やかになり職員との交流も増え笑顔の時間が増えていった。また NPI 評価でも 23 点から 12 点も減るといった結果に繋がった。

② Z 様

検証の結果、Z 様の目を見た時間がトータル 13 分、話し掛けた時間が 15 分も増えた。

声掛けを行うと検証前は反応が無かったが、少しずつ声掛けに対して返事や首の動きで反応が見られ、また職員からは継続して触れることや、話しかけるだけでも顔の表情等に変化があるのだと感じられた等の意見が出た。

《5. 考察、まとめ》

ユマニチュードを活用することによりご利用者から自然に笑顔や発語が増え、不穏や拒否の軽減、廃用性の予防に。介助者側ではコミュニケーション等ご利用者との接する時間が増えることで信頼関係の構築、介助同意が得やすくなり介護負担の軽減に繋がった。

またユマニチュードにつきましては、不適切ケアや虐待防止にも効果があると考えます。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

株式会社エクサウィザーズ ユマニチュード施設準備コース教材

《8. 提案と発信》

実践後、職員にアンケートを行いユマニチュードは寝たきりの方でも効果があるかどうか等の意見を聞いた。

その結果、効果あり・少し効果ありと答えた職員は 18 人と答えが出た。その結果の検証は寝たきりのご利用者でもユマニチュードの有効性はあると言えるのではないのでしょうか。今後も引き続き他のご利用者でも実践検証していきたいと考える。